

## 令和3年10月定例教育委員会会議録

### 1 日 時

令和3年10月28日（木）午後2時00分から午後2時48分まで

### 2 場 所

唐津市役所 大手口別館6階 会議室

### 3 出席者

#### (1) 教育長

栗原宣康

#### (2) 教育委員

富永祐司、宮崎美和、篠原智文、石山貴子

#### (3) 事務局

教育部長 草場忠治、教育副部長兼教育企画課長 木村佳商、教育副部長兼生涯学習文化財課長 中山誠、教育総務課長 古場真由美、学校教育課係長 松竹寿郎、学校支援課係長 秀島貴子、東部学校給食センター所長 小野尾栄二、近代図書館長 伊藤由美、浜玉市民センター産業・教育課長 平尾敏和、巖木市民センター産業・教育課長 原 昭彦、相知市民センター産業・教育課係長 秀島充康、北波多市民センター産業・教育課係長 富永昇、鎮西市民センター産業・教育課係長 仁田坂聡、呼子市民センター産業・教育課長 藤松光彦、七山市民センター産業・教育課長 種岡勝博、教育総務課係長 森徳雄、教育企画課係長 阿部修久、教育総務課職員 原周平

### 4 議 題

#### (1) 報告事項

① 教育長報告

② 各課報告事項

- ・ 9月市議会定例会（追加議案）の報告について
- ・ 9月市議会定例会（決算議案）の報告について
- ・ 9月の臨時休業等にもなう土曜授業について
- ・ 学力・授業力向上6カ年計画について
- ・ 特別展 佐賀県立博物館・佐賀県立美術館コレクション「日日是好日（ひびこれよきひ）」について
- ・ 共催及び後援について

③ その他

- ・ 教育委員会行事予定
- ・ 秋の教育長表彰について

## 【定例会】

午後2時00分 開会を告げる。

栗原教育長は、本日の会議録署名委員として篠原委員を指名した。

栗原教育長は、前回の定例会の会議録について会議に諮り、委員会はこれを承認した。

## ○教育長（栗原宣康君）

それでは、今月は議案と協議事項がございませんので、真つすぐ報告事項に入ります。

教育長報告です。A4の一枚紙を御覧ください。

7日の木曜日、唐津第一中学校、コロナウイルス感染でクラスターが発生いたしました。16時30分に県の健康福祉本部から広報がなされ、8日朝の新聞に第一中学校で生徒8名、関係者、家族ですけれども、3名合わせて11名のクラスターが発生しましたという報道がありました。この一連の感染は、9月28日に1人目の感染者が出て、7日までの間に申しあげました生徒8名、関連者3名の陽性者のクラスターでした。10月6日までに全校生徒、全教職員のPCR検査が実施されたところです。

その後、これまで3週間を経過いたしましたけれども、この5日後の12日に第一中学校で感染したクラスターのときの子どもの兄弟が1名感染することがございました。また、別の学校で1件陽性が出まして、7日以降、2件の陽性者が出ているという現在の状況です。

2つ目です。14日木曜日、西唐津公民館の安全祈願祭が行われました。開館予定、すみません、ここに令和4年7月と書いてありますが、12月に訂正をお願いいたします。関係者で安全祈願祭を行ったところです。

また、その日に北部支所管内の教育長会が開催されました。年度末の人事異動について幾つか伝達がございました。また、離島や僻地の人事異動についての今年度末の予想について、状況の話がございました。

22日です。市町教育長会連合会の秋季総会・研修会が行われました。この

研修会は教育長20名が参加して行うのですけれども、毎年どこかの市町の教育長が自分の市町のことについて報告をするというふうになっておりますが、今年の大町町の教育について状況報告がありましたけれども、話の多くの中身は今年の夏の大雨被害の報告でありました。詳しく聞いてみますと、かなり厳しい状況があったのかなと思うところがありました。避難のときのことでありましたりとか、避難所の設営のことでありましたりとか、学校の対応だったりとか、それから、後のボランティアの方々、災害復旧に向けてどんな動きがあったのかとか、そのようなことがとても参考になる話を幾つか聞かせていただいたところです。

また、各市町の現在のコロナ対策について、これは私がクラスターの発生について報告をさせていただいたところです。また、GIGAスクールの取組の状況について情報交換をしたところです。かなりいろんな市町によって、このGIGAスクール、タブレット端末の利用の状況については差があるなど感じたところですが、多くの市町でWi-Fi環境のない家庭についてどのような手だてを取っているかという報告がたくさんなされました。市町の教育委員会で購入したものを貸し出すようにしていますという内容のところが多かったように思います。

教育長報告は以上です。

それでは次に、各課の報告事項に参ります。

9月の市議会定例会（追加議案）の報告について、事務局お願いします。

#### ○教育部長（草場忠治君）

資料のほうは、報告事項①という部分になります。

まず、追加議案関係の分についてですが、資料の1ページになります。

吉村慎一郎議員さんが公立学校施設復旧費と文化財復旧費について質問されております。豪雨被害による災害復旧費について、災害箇所や財源について質疑されました。

質問事項（1）では、被災箇所として湊小学校のグラウンドに隣接する山のり面崩壊による被災状況と名護屋城跡及び徳川家康別陣跡の2か所のり面崩壊による被災状況を、（2）では、採択要件として時間雨量と被害額の基準

及び財源内訳を、（３）では、工事完了までの予定として早急に発注事務を進め、早期完了に努めたいと答弁をしております。

以上が追加議案の分です。

**○教育長（栗原宣康君）**

それでは、９月議会定例会の報告について、質問や御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（栗原宣康君）**

それでは、決算議案のほうに行って、もしありましたら、またそのときでも結構です。

それでは、９月定例市議会の決算議案の報告について、事務局お願いします。

**○教育部長（草場忠治君）**

資料は報告事項②のほうになります。

１枚めくっていただくと、４人の議員のほうから質疑があつております。

１ページの最初に、原雄一郎議員についてです。中学校部活動指導員配置事業費について質問されておりますが、実績、効果や課題と今後の展開について質問されております。

質問事項（１）から（２）では、指導員の配置実績として第五中、佐志中、巖木中に各１名の３名で１回当たり２時間、週３回程度配置したことを、効果として充実した指導体制や教職員の負担軽減を、課題としては常勤の方が指導員になれないことを、（３）では、課題として常勤で１週間当たり４０時間程度働いている方は指導員になれないということ、（４）では、今後の展開として文部科学省が部活動の段階的な地域移行を示していることから、国、県の動向を踏まえつつ、部活動の指導体制づくりを考えていくと答弁をしております。

それから、３ページからになりますが、放課後子ども教室推進事業費について質問されておりますが、その分については、事業実績や課題と今後の展開について質問されております。

質問事項（１）から（２）では、実績として、公民館の主催事業として２１教室、民間主催で２教室、実施場所として公民館内や小学校体育館等で公民館

職員と地域学校協働活動推進員が運営していることを答弁しております。

(3) では、子ども教室の充実については職員の負担増となることから、今後の在り方について検討することを答弁しております。

(4) では、子ども教室の目指す姿として、放課後児童クラブとの総合的な連携協議の場として教育委員会、保健福祉部等から成る運営委員会を設置して、よりよい放課後対策を検討すると答弁しております。

次は5ページになりますが、近代図書館等の図書購入費について、図書サービス計画の目標値と実績、今後の取組について質問されております。

質問事項(1) では、開架冊数に対する年間購入冊数の占める割合を令和5年度に6.5%とする数値目標を掲げていること、(2) では、1人当たりの貸出冊数の目標値を4冊にする、実績としては2.5冊で、団体貸出しを含めると1人当たり3.1冊というふうになっていること、それから(3) では、開架冊数に占める購入冊数の割合の実績が近代図書館では5.6%であること、(4) では、目標達成のため、今後の取組として開架冊数に占める購入冊数については段階的に予算額を確保する計画であるとし、公民館図書室との連携を強化し、サービス向上に努めるという答弁をしております。

次が7ページです。大宮路美奈子議員の質疑です。

最初に、特別支援教育費について質問されております。

インクルーシブ教育についての考えと交流会の現状や生活支援員の採用基準について質問されました。

質問事項(1) では、考えとして障害のある子とない子どもが共に教育を受けられる多様な学びの場の充実、整備を進めていくことが大事であるということを答弁しております。

(2) では、特別支援学級の児童・生徒の交流会として例年3地区に分かれて実施しているが、コロナ禍の影響で中止や規模縮小しての開催となったことを答弁しております。

(3) では、生活支援員の採用基準としては資格条件を定めていないことを答弁しております。

次は9ページになります。いきいき学ぶからつっ子育成事業費について、事

業内容と実績や成果について質問されました。

質問事項（１）では、事業内容として、１つ目として児童・生徒の健全育成を目的に自然環境、伝統文化の体験学習、２つ目として学力向上、授業力向上を目的に研修会や、指定校や推進校による公開授業を行っていること、それから、３つ目として外国語教育指導力向上を目的にモデル校を選出し、スコア型英語テストを行い、分析結果に基づき指導内容等の改善を、（２）では、事業実績として、１つ目は浮立の運動会での披露やヨット体験や門松づくりを、２つ目として学力向上研究会を７回、公開授業に多くの参加があったことを、３つ目としてモデル校３校に実践発表と意見交換を行い、授業改善を行ったことを、（３）では、成果として、１つ目は学校、家庭、地域の連携が進み、自己肯定感の高まりと地域を誇りに感じる機会となっていることを、２つ目は先輩教員からの指導、助言、支援体制が取りやすく、若い世代の教員の授業の質が向上していることを、３つ目はモデル校の結果分析による授業改善により指導力が向上していることを答弁しております。

次が１２ページのほうになります。

小・中学校のコンピュータシステム整備費とG I G Aスクール推進事業費について、I C T支援員の委託料と配置数について質問されております。

（１）では、１２名の支援員のうち４名をコンピュータシステム整備費で、残り８名をG I G Aスクール推進事業費で配置していることを答弁しております。

（２）では、１２名では不足しているのではないかという質問に対し、I C T支援員については、国の配置基準に基づき４校に１人とし、ヘルプデスクを開設し、対応していることを答弁しております。

次が１３ページです。たくましいからつっ子育成事業費について、事業実績とコロナ禍での実施や今後の実施の考え方について質問されております。

（１）では、事業実績として、本庁や市民センターで実施した事業と民間団体が補助事業として実施した事業内容を答弁しております。

（２）では、コロナ禍で中止となった事業内容を、（３）では、コロナ禍における今後の事業実施の考え方として体験メニューを小分けして少人数で行う

ことなどを検討すると答弁しております。

次が15ページになりますが、白水敬一議員です。

まず、学校教育事務費について、唐津市教育の基本方針を達成するための取組内容やコロナ禍での影響等について質問されております。

(1)では、取組内容と成果として学力向上指定校と推進校を拠点とした授業改善、それから、いじめアンケート等を行い、全体のいじめ対応の検証、運動の習慣化を図る取組による体力向上という内容を答弁しております。

(2)では、新型コロナが学校現場に与えた影響として運動会の中止や参加者の人数制限を行っての午前中のみ開催、それから、修学旅行の中止や日帰りでの実施の状況を答弁しております。

(3)では、Q-Uアンケートの実施状況と成果として、アンケート結果を分析し、的確に指導することでいじめや不登校の解消に役立っているという内容を答弁しております。

次が17ページからですが、特別支援教育費について、事業内容と生活支援員の確保状況について質問されました。

(1)では、具体的な事業実績として生活支援員を幼稚園と小・中学校で65名配置した事業費として約1億2,136万円、特別支援教育研究会等への補助金と通級指導教室の経費が約29万円の合計で1億2,165万円と、

(2)では、生活支援員の配置数が平成28年度は55人、平成30年度から令和2年度は65人、3年度は66人と推移し、採用方法として他の会計年度任用職員と同様にハローワーク等で募集していることを答弁しております。

次が19ページになりますが、スクール・サポート・スタッフ配置事業費について、事業の目的と配置状況や事業の成果について質問されております。

(1)では、学校現場の感染症対策として純増した業務をサポートし、教員の負担軽減を目的に配置しているということと、(2)では、配置数として希望された小・中学校29校に対し25人を配置しているということと、事業の効果として教員が児童・生徒と向き合う時間が確保されたこと、丁寧な消毒作業の取組により児童・生徒の衛生に関する意識が高まったことなどを答弁しております。



次が21ページです。小・中学校のGIGAスクール推進事業費について、事業内容とGIGAスクールサポーターの活動内容や事業効果について質問されております。

(1)では、事業実績の内訳としてタブレット端末1万969台の購入費が約6億88万円、タブレット端末の学習ソフト等を5年リースとし、令和2年度分の2か月分が778万円、各教室に配置した電源キャビネット410台分の費用が約1億4,244万円、GIGAスクールサポーター12名の配置費用が1,822万円と答弁しております。

それから(2)では、GIGAスクールサポーターの活動内容として学校におけるICT環境整備のための調査やタブレット端末等の指導マニュアル作成及び研修を、また、効果として研修により教員のタブレット端末を使用した授業の進め方などの理解を深めたという内容を答弁しております。

最後に、23ページです。

浦田議員については、西唐津公民館移転改築事業費と公民館エレベーター設置事業費について、公民館改築及びエレベーター設置の整備計画の住民への情報発信の在り方について質問されております。

(1)では、西唐津公民館改築と長松公民館エレベーター設置事業の遅延に係る住民への説明状況を答弁しております。

(2)では、行政の計画性について、建設事業が4年から5年を要することから、着手した事業が進捗しかけたら次の事業の事業化に向けた準備を行うべきということを答弁しております。

(3)では、教訓として計画時に十分な精査を行い、進捗管理に努めていくということ、(4)では、次に着手する予定の外町公民館改築や成和公民館エレベーター設置の事業化に向けた準備をこれから行っていくということを答弁しています。

(5)では、外町の次に着手する北波多公民館について、市民センターとの複合施設が検討されているので、市長部局の方向性とリンクした検討が今後必要ということと、(6)では、成和の次にエレベーター設置の優先順位が上位である東唐津公民館と大成公民館については、耐用年数の残りが10年程度で

あり、建物の長寿命化改修工事とセットでの設置について住民の合意が得られれば実施したいという内容を答弁しております。

以上でございます。

**○教育長（栗原宣康君）**

ありがとうございました。

9月市議会定例会、決算議案の報告について、質問や御意見はございませんか。はい、どうぞ。

**○教育委員（石山貴子君）**

少し公民館について触れていいですか。

**○教育長（栗原宣康君）**

はい。

**○教育委員（石山貴子君）**

4ページになります。放課後子ども教室についてですが、サポーターを平成26年から7年間、私も務めさせてもらっています。ここに書いてあるように、協力いただいている地域の方の高齢化と新しい担い手の不足という課題を私も感じています。高齢化もですが、サポーターさんのなり手が無いということも大きな課題です。既に放課後子ども教室をやめている公民館もあると聞いています。

私が感じているのは、ここ数年間で大きく教育現場も変わり、サポーターさんの研修も必要なのではないかなと思います。国が進める放課後子ども総合プランもなかなか進まない課題も含めて、ぜひ運営委員会で子どもの居場所でもある社会教育を充実してほしいと思っています。

**○教育副部長兼生涯学習文化財課長（中山 誠君）**

生涯学習文化財課でございます。石山委員さんおっしゃるとおりというところで私も認識しております。

ただ、ここに上がっております国が放課後子ども総合プランを進めておりますが、こちらのほうはそもそもが児童クラブの待機児童を少しでも減少したいというところが発端としてスタートしているようで、それでは、厚労省管轄の児童クラブと教育委員会管轄の放課後児童クラブのほうで連携をして、拡充し

て、受皿として使っていただけないかというのが趣旨なんですけれども、国が示すのは——私どもが当初これを見たときに、連携というのはどういうことができるのかなと考えたときに、今も一部の公民館ではやっているんですけれども、児童クラブに来た子どもたちに対して、放課後子ども教室にその子どもたちが来てもらって一緒になって活動を行う、あるいは逆に放課後子ども教室のサポーターさんなり指導者さんなりが放課後児童クラブのほうに行ってお前みたいな形でやっていただくということで、連携していただいているところもあるので、そういった連携を拡充することは可能であると思うんですが、国が言っているのは児童クラブと同じような受皿として放課後子ども教室を拡充できないかと。というのが、どういうことを意味するかというと、今は月2回やるとか、週1回やるとか、そういった形のスパンで行っているんですけれども、それを受皿として使えるように週、ウィークデーには毎日開催ですとか、そういったことを最終的には目指している内容になっているので、そこでまた戻るのがサポーターとかで協力体制というか、実際問題、今でも非常に苦慮してやっていた部分があるのに、そこまで劇的にといいますか、飛躍的に頻度を増やしてやるとマンパワーの問題、それから経費の問題、当然地元だけをお願いするというわけにはいかないの、別立てでサポーターを公費で雇ったりということをしなくて、とてもじゃないけど理想どおりにはならないよねというところがあるので、今のところは先ほど申し上げた委員会、これは私ども社会教育の分野と福祉の児童クラブ、それから、当然公民館、地元の方々を構成メンバーとして協議をしていくんですけれども、その中で今ある人的資源、今ある経費、体制の中でどこまでやれるのかというのを検討していく形になろうかというふうに思っております。なかなか理想と現実にはギャップがあるというところで認識しております。

#### ○教育委員（石山貴子君）

三、四年前ぐらいに一度そういう交流があったんですけれども、そこからまた、やっぱり人の問題とか移動、課題が多いんですよ。

#### ○教育副部長兼生涯学習文化財課長（中山 誠君）

まずはできることからというか、先ほど委員さんおっしゃったように、今の

枠組みの中での連携した実施というものをまずは考えていく必要があるのかな  
とっております。

**○教育委員（石山貴子君）**

公民館でもいい活動をしているので、もったいないなと思って、ぜひお願い  
します。

**○教育副部長兼生涯学習文化財課長（中山 誠君）**

ありがとうございます。

**○教育長（栗原宣康君）**

ありがとうございました。

ほかに何かございませんか。

**○教育委員（篠原智文君）**

13ページのたくましいからっ子の内容なんですが、子どもたちの成長に  
関して様々な体験活動を提供するというのは素晴らしいことだなと私も感じて  
おるんですが、ちょっと質問なんですが、そこの中にコロナで実施できなかつ  
たものが多々あったということなんですが、天体観測とか、市民センターにお  
いて登山を計画したところがあったということですが、どこの場所でどうい  
う形で計画されていたか、もし御存じでしたら教えていただければと思います。

**○教育副部長兼生涯学習文化財課長（中山 誠君）**

登山のほうは、すみません、ちょっとはっきり覚えていないんですけども、  
パドルボートについては浜玉です。

**○教育委員（篠原智文君）**

ああ、浜玉なんですね。

**○教育副部長兼生涯学習文化財課長（中山 誠君）**

はい。浜崎海岸のほうでだと思います。ただ、中止せざるを得なかったとい  
う状況です。

**○教育委員（篠原智文君）**

天体観測は。

**○教育副部長兼生涯学習文化財課長（中山 誠君）**

天体観測は汚水処理場です。

○教育委員（篠原智文君）

市の少年科学館ですね。

○教育副部長兼生涯学習文化財課長（中山 誠君）

はい、二タ子の。あそこで行います。

○教育委員（篠原智文君）

分かりました。

○教育長（栗原宣康君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、先に進みたいと思います。

9月の臨時休業等に伴う土曜授業について、事務局お願いいたします。

○学校教育課係長（松竹寿郎君）

学校教育課です。本資料の1ページ、報告事項の③9月の臨時休業等に伴う土曜授業についてを御覧ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月25日より予定していました2日間の市内一斉登校日を中止、同じく2学期スタートと予定しておりました9月1日から9月3日までの3日間を市内一斉の臨時休業としました。また、台風14号により9月17日も市内一斉の臨時休業としたところです。

各学校におきましては、授業時数の確保のために様々な工夫をしておりますけれども、市としましては、統一して2日間の土曜授業を設定いたしました。多くの学校がそこに示しておりますとおり、11月の第1土曜日、12月の第1土曜日を予定しておりますが、学校行事等でこの日とは別日に予定している学校も数校ございます。

各学校の土曜授業予定日につきましては、こちらのほうでアンケートを取りまして把握をしているところでございます。

以上でございます。

○教育長（栗原宣康君）

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（栗原宣康君）**

それでは、学力・授業力向上6か年計画について、事務局お願いします。

**○学校教育課係長（松竹寿郎君）**

引き続き学校教育課です。別紙で配付しております報告事項の④「チーム唐津」で進める学力・授業力向上プランを御覧ください。

本年度が学力向上アクションプラン9か年計画の最終年度となっております。したがって、次年度以降の新プランとしましては、プリントに示しておりますとおり、6か年計画の学力・授業力向上プランを考えているところがございます。2年ごとにステージを分けまして、ステップアップを図りながら、個別最適な学びと協働的な学びを推進してまいります。

なお、この個別最適な学びと協働的な学びの内容につきましては、下のほうに示しておりますので、確認をお願いします。

学力向上指定校につきましては、これまでと同様に中学校区単位で指定をしていきたいと考えているところがございます。

以上でございます。

**○教育長（栗原宣康君）**

これまで、今年までが9か年計画で進んでまいりました。このときもステージ1、2、3のように3段階に分かれて、3年ずつの計画でやってきたわけですが、来年から新たなプランで6か年計画をもって進むというふうに行っているところです。

これまでやりました学力向上アクションプランについては、チェック項目を幾つか設けながら、それで点検をしていきながら、各学校での取組等を最終ステージの段階ではやってきたところですが、今、かなりいろんな学校でそれぞれの取組が進んできているというふうに感じています。殊に小学校では大幅に授業の様子が以前と変わってきたというふうに感じているところですが、さらに6か年をスパンとして進めてまいりたいというふうに思っております。

この学力・授業力向上プランのところで何かございますか。

○教育委員（篠原智文君）

質問よろしいですか。

○教育長（栗原宣康君）

はい、どうぞ。

○教育委員（篠原智文君）

この2つの個別最適な学びと協働的な学び——協働的な学びは学習指導要領にもあったと思うんですけど、この2つを取り上げた理由というか、視点はどのような視点で取り上げているんですか。

○学校教育課係長（松竹寿郎君）

令和3年1月26日の中教審答申の中に、令和の日本型学校教育というところで通知がなされております。新学習指導要領に基づいて、今後この2つのことを授業の中で進めていきたいと思いますというところがうたわれておりました、唐津市も先進的にそこを取り入れていこうということで、今のところ話しているところです。

○教育委員（篠原智文君）

分かりました。ありがとうございます。

○教育長（栗原宣康君）

今、コロナでグループワークをやりにくいところがありまして、それで取組がやりにくいところもあるというふうに思っているところです。かなりグループワークについても研究をして進んできたところだったんですけど、昨年から非常にその辺が苦しくなっているところです。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（栗原宣康君）

それでは、先へ参ります。

特別展「佐賀県立博物館・佐賀県立美術館コレクション 日日是好日」について、事務局お願いします。

○近代図書館長（伊藤由美君）

近代図書館です。お手元のチラシを御覧ください。

美術ホールでは、11月6日から12月5日まで特別展「佐賀県立博物館・佐賀県立美術館コレクション 日日是好日」1期「画家のまなざし」を開催します。

平成4年の開館以来、佐賀県立博物館、美術館の御協力を得て、同館の所蔵品による企画展を重ねてきました。今回は令和3年度の特別展として、佐賀ゆかりの絵画と陶芸を2期に分けて紹介します。

今回御案内する展覧会はその1期目です。佐賀美術協会を創設した山口亮一を中心に、岡田三郎助、久米桂一郎、立石春美、石本秀雄ら郷土の美術の発展と後進の育成に尽くした画家たちの作品を展示しています。

委員の皆様方には案内状を郵便でお送りしております。初日の11月6日土曜日午前9時30分から内覧会を行います。学芸員が簡単な作品解説も行いますので、この機会にぜひ御参加ください。

以上です。

**○教育長（栗原宣康君）**

6日の土曜日9時半ですね、もし御都合がつかれたら御参加いただければと思います。

それでは、共催及び後援について、事務局お願いします。

**○教育総務課長（古場真由美君）**

教育総務課でございます。議案の2ページをお願いいたします。

共催及び後援につきましては、共催が3件、後援が15件、合計18件でございます。

行事名、主催者名につきましては、一覧表を御確認いただきたいと思います。

以上でございます。

**○教育長（栗原宣康君）**

それでは、教育委員会の行事予定、事務局お願いします。

**○教育総務課長（古場真由美君）**

教育総務課でございます。続きまして、3ページをお願いいたします。

令和3年10月29日金曜日から令和3年11月22日月曜日までの主な行



事予定でございます。

1 1月2日火曜日ですが、10時から秋の教育長表彰式を行う予定にしております。

1 1月16日火曜日は、14時から令和3年度佐賀県市町教育委員会連合会第3回役員会がございます。富永委員さんに御出席いただくようにしております。嬉野市文化センターでございます。

その他の行事予定につきましては、一覧表に記載しておりますので、御確認いただきたいと思います。

以上でございます。

#### ○教育長（栗原宣康君）

その他、報告事項はございませんか。はい、どうぞ。

#### ○教育総務課長（古場真由美君）

教育総務課でございます。本日お配りしております教育長表彰受賞者名簿をお願いいたします。

秋の教育長表彰について御報告申し上げます。

教育長表彰は、唐津市教育委員会表彰規程に基づき年2回行っております。

春の表彰は児童・生徒のみ対象でしたが、秋の表彰につきましては一般の方も表彰の対象となっております。

10月15日に教育長表彰審査会を開催し、審査をいたしました。その結果を教育長に報告いたしまして、29名及び8団体を決定したところでございます。

資料の1ページをお願いいたします。

まず、一般の部でございますが、教育委員で2名、青少年支援センター指導員で3名、社会教育団体の役員で1名、奉仕活動で1名、青少年の健全育成で1名の方が受賞されております。

2ページをお願いいたします。

次に、児童・生徒の部でございますが、スポーツの競技上位入賞者として中学生の個人13名、中学生団体7団体、小学生個人8名、小学生団体1団体が受賞されております。

氏名、住所、功績等につきましては、お手元の資料で御確認をいただきたいと思ひます。

なお、表彰につきましては、小・中学生は各学校で行っていただき、一般の方につきましては、11月2日火曜日10時より表彰式を行う予定でございます。

以上でございます。

**○教育長（栗原宣康君）**

森田委員と坂本委員が今回受賞者として一緒になりましたけれども、お渡ししたいと思ひます。

右のページの児童・生徒ですけれども、全国大会等々への出場と書いてあるところが多くあるんですけれども、中には幾つか全国で優勝したり、3位に入賞したりしているのがあって、これはまたうれしい情報だなと思ひてこの選定を見たところでした。御紹介をしたいと思ひております。

**○教育委員（富永祐司君）**

森田淳さんが1年遅れた理由は何ですか。

**○教育総務課長（古場真由美君）**

すみません。教育総務課からの推薦が去年漏れていたようで、申し訳ございません、遅くなっております。

**○教育委員（富永祐司君）**

はい。

**○教育長（栗原宣康君）**

去年終わった後で気がついて、このタイミングでいっておかにかいかんやったというのが。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（栗原宣康君）**

何かほか、事務局からございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（栗原宣康君）**

それでは、次回の定例教育委員会の日程でございますが、11月25日14

時からここで開催をさせていただこうと思っております。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（栗原宣康君）**

同じく木曜日の14時です。

また、11月に入りましたら学校訪問も幾つかございますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これもちまして10月の定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。